

名古屋大学方式 女性研究者採用加速・育成プログラム

(実施期間：平成 22～26 年度)

実施機関：名古屋大学（総括責任者：松尾 清一）

プロジェクトの概要

(1)新規養成女性研究者の採用計画

理・工・農学系女性研究者を3年度目までに 15 名、5 年度目までに 29 名(教授4名、准教授5名、助教 20 名)を新規に採用する。女性教授・准教授(PI)の積極的増加策として、全学流用定員を利用した「女性 PI 枠」を設置し、理・工・農学系合同公募を実施する。全学から若手女性教員の人件費を措置した「発展型ポジティブ・アクションプロジェクト」を継続実施し、助教採用増加を促進する。

(2)女性研究者養成のための取組内容

①特別研究費の配分②メンター制度の導入③育児中の支援員配置④研究の成果発表支援⑤スキルアップセミナーの定期的開催などを全学的体制の下に実施する。

(3)期待される効果

女性PIの増加により、大学の意思決定に関わる女性比率が上昇し、女性研究者の地位確立、採用比率上昇、研究環境の改善が見込まれる。さらに人事権をもつPI増加により女性研究者比率を飛躍的に加速させるポジティブフィードバック効果が期待される。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	女性研究者支援システム改革	取組の内容	実施体制	今後の進め方
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

学長のリーダーシップの下、全学的な事業推進体制を構築し、学長管理定員を用いた「女性 PI 枠」といった上位職階女性教員を採用するための仕組みを構築した。女性教員の採用を積極的に進め、新規養成女性研究者の採用目標を達成したのみならず、機関独自に多くの理・工・農学系分野の女性教員の採用を進めたことは評価できる。さらに、女性研究者養成のための様々な制度を設け、適切な養成を進めることにより昇進や登用に繋げていることは評価できる。

- ・**目標達成度**：新規養成女性研究者の採用が所期の目標を達成しており、中でも上位職による採用が目標を上回ったことは評価できる。理・工・農学系分野の女性研究者比率についても概ね目標を達成した。
- ・**女性研究者支援システム改革**：「発展型ポジティブ・アクションプロジェクト」により若手女性教員を増加させるとともに、「女性 PI 枠」により上位職階女性教員の採用を進め、メンター制

度の構築や研究スキルアップセミナー等の開催により女性研究者の研究力の向上やリーダーシップの育成を図り、女性教員の採用、登用、養成を進めるシステム改革を推進したことは評価できる。

- **取組の内容**：「女性 PI 枠」は上位職階女性教員の積極的な採用に大きく貢献しており、女性リーダー育成の観点からも評価できる。さらに、女性教員公募において分野を広く設定し優れた応募者の獲得に努めたこと、メンター制度等の取組により女性研究者の研究力向上が実現したことは評価できる。
- **実施体制**：学長のリーダーシップが発揮されることにより部局を超えた意識改革が進み、役員会、男女共同参画推進専門委員会、理・工・農学系合同選考委員会が連携して女性教員の人事選考に当たる全学的な実施体制が構築、運営されたことは評価できる。
- **今後の進め方**：主な取組が継続されており、女性研究者への支援強化のため男女共同参画室の拠点化（センター化）が決定されていることは評価できる。さらに、本事業の取組を継承、発展させるため、男女共同参画の推進に係る関連プログラムの推進に積極的に取り組んでいることは評価できる。今後は、地域の他機関へ波及効果を及ぼすことを期待する。